数字

4K VLAN（4,096 個の VLAN サポート） **25-3**
802.1AE タギング **70-2**
802.1Q
　ISL VLAN へのマッピング **25-7**
　トランク **20-4**
　　制約事項 **20-2**
　トンネリング
　　概要 **28-4**
　　設定時の注意事項 **28-1**
　　トンネル ポートの設定 **28-6**
　レイヤ 2 プロトコル トンネリング
　　「レイヤ 2 プロトコル トンネリング」を参照
802.1Q EtherType
　カスタムの設定 **20-16**
802.1Q VLAN から ISL VLAN へのマッピング **25-7**
802.1X **83-1**
802.1X アカウンティング **83-44**
802.1x の許可ポート **83-12**
802.1x の無許可ポート **83-12**
802.3ad
　「LACP」を参照
802.3af **19-3**
802.3at **19-2**
802.3x フロー制御 **10-9**

A

AAA
　失敗ポリシー **83-8, 84-5**
aaa accounting dot1x コマンド **83-44**
aaa accounting system コマンド **83-44**
AAA（認証、許可、アカウンティング）。「ポートベースの認証」も参照 **83-6, 84-2**
access-enable host timeout（サポートなし） **69-4**
ACE および ACL **69-1**
ACL
　Filter-ID **83-25**
　スタティックに共有 **83-25**
　ダウンロード可能 **84-2**
　ダウンロード可能（dACLs） **83-24**
　ポート
　　定義 **73-2**
　ユーザ単位 **83-24**
　リダイレクト URL **83-25**
any transport over MPLS（AToM） **38-3**
　Ethernet over MPLS **38-3**
ARP ACL **69-12**
ARP スプーフィング **80-3**
AToM **38-3**
authentication control-direction コマンド **83-54**
authentication event コマンド **83-46**
authentication open コマンド **83-15**
authentication periodic コマンド **83-38, 83-51**
authentication port-control コマンド **83-46**
authentication timer reauthenticate コマンド **83-39**
auto-sync コマンド **9-4**

B

BackboneFast
　「STP BackboneFast」を参照
BPDU
　Bridge Assurance **31-5**
　RSTP 形式 **30-17**

Shared Spanning Tree Protocol（SSTP） 31-21
BPDU ガード
「STP BPDU ガード」を参照
Bridge Assurance
一貫性のないステート 31-5
サポートされているプロトコルとリンクのタイプ 31-5
説明 31-5 ～ 31-7

C

CALEA、「法執行のための通信援助法（CALEA）」を参照
Call Home
アラート グループ 53-33
説明 53-3
メッセージ
形式オプション 53-4
メッセージ形式オプション 53-4
call home 53-1
smart call home の機能 53-5
SMTP サーバ 53-2
宛先プロファイル 53-24
重大度しきい値 53-35
情報の表示 53-47
通信のテスト 53-41
定期的な通知 53-35
パターン マッチング 53-38
レート制限メッセージ 53-40
連絡先情報 53-23
call home 宛先プロファイル
説明 53-25
属性 53-25
表示 53-50
call home アラート グループ
設定 53-33
説明 53-33
登録 53-34
Call Home 顧客情報
情報の入力 53-23
call home 通知
syslog の XML 形式 53-19
syslog のフルテキスト形式 53-19
CDP
Cisco IP Phone の設定 18-3
ホスト表示の検出 83-14, 85-4
CEF
設定
RP 32-5
スーパーバイザ エンジン 32-4
パケットの書き換え 32-3
例 32-3
レイヤ 3 スイッチング 32-2
Certificate Authority（CA） 53-2
channel-group グループ
コマンド 22-9, 22-14, 22-15, 22-16, 22-17
コマンド例 22-10, 22-15
Cisco Discovery Protocol
「CDP」を参照
Cisco Emergency Responder 18-4
Cisco EnergyWise 12-1
CISCO-IP-TAP-MIB
citapStreamVRF 86-2
アクセスの制限 86-11
概要 86-9
CISCO-TAP2-MIB
アクセス 86-10
アクセスの制限 86-10, 86-11
概要 86-8, 86-9
CISP 83-30
CIST リージョナル ルート
「MSTP」を参照
CIST ルート
「MSTP」を参照
class コマンド 63-10
clear authentication sessions コマンド 83-41
clear counters コマンド 10-13
clear dot1x コマンド 83-40

clear interface コマンド 10-13
CLI
1 レベル後退 2-5
ROM モニタ 2-7
アクセス 2-1
インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-5
グローバル コンフィギュレーション モード 2-5
コマンドのリスト表示 2-6
コンソール コンフィギュレーション モード 2-5
ソフトウェアの基礎知識 2-4
特権 EXEC モード 2-5
ヒストリ置換 2-4
Client Information Signalling Protocol
「CISP」を参照
CoPP 77-1
概要 77-3
コントロール プレーン コンフィギュレーション モード
開始 77-5
制御プレーン コンフィギュレーション モードの開始 77-5
制御プレーンへの QoS サービス ポリシーの適用 77-5
設定
MLS QoS のイネーブル化 77-5
サービスポリシー マップ 77-5
トラフィックと照合する ACL 77-5
パケット分類基準 77-5
統計のモニタリング 77-9
トラフィック分類
ACL 例 77-8
概要 77-6
サンプル クラス 77-6
注意事項 77-8
定義 77-6
パケット分類の注意事項 77-2
表示
ダイナミックな情報 77-9
適合バイト数およびパケット数 77-9
レート情報 77-9
CoS
オーバーライド プライオリティ 18-6, 19-5
CSCsr62404 10-10
CSCtx75254 5-2
cTap2MediationDebug 通知 86-12
cTap2MediationNewIndex オブジェクト 86-8
cTap2MediationTable 86-8
cTap2MediationTimedOut 通知 86-12
cTap2MIBActive 通知 86-12
cTap2StreamDebug 通知 86-12
cTap2StreamTable 86-9

D

dACL
「ACL、ダウンロード可能」を参照 83-24
dCEF 32-4
debug コマンド
IP MMLS 43-32
DEC スパニングツリー プロトコル 34-2
Denial of Service（DoS）保護 76-1
DHCP Option 82
回線 ID サブオプション 78-7
概要 78-6
パケット形式、サブオプション
回線 ID 78-7
リモート ID 78-7
リモート ID サブオプション 78-7
DHCP スヌーピング
802.1X データ挿入 83-16
Option 82 データ挿入 78-6
イネーブル化 78-9, 78-10, 78-11, 78-12, 78-13, 78-14
概要 78-3
スヌーピング データベース エージェント 78-8
設定 78-9
設定時の注意事項 78-9
データベース エージェントのイネーブル化 78-14

デフォルト設定 78-9
バインディング データベース
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
バインディング テーブルの表示 78-19
メッセージ交換プロセス 78-6
モニタリング 79-5, 79-6
DHCP スヌーピング増加バインディング制限 78-15
DHCP スヌーピング データベース エージェント
TFTP ファイルからの読み取り（例） 78-17
イネーブル化（例） 78-16
概要 78-8
データベースへの追加（例） 78-18
DHCP スヌーピング バインディング データベース
エントリ 78-5
説明 78-5
DHCP スヌーピング バインディング テーブル
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DHCP バインディング データベース
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DHCP バインディング テーブル
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
DiffServ
ショート パイプ モード 67-28
ショート パイプ モードの設定 67-31
ユニフォーム モード 67-29
ユニフォーム モードの設定 67-35
DiffServ トンネリング モード 67-4
DNS、「ドメイン ネーム システム」を参照
DoS からの保護 76-1
QoS ACL 76-2
uRPF チェック 76-7
セキュリティ ACL 76-2
パケット ドロップ統計のモニタリング
monitor session コマンドの使用 76-11
VACL 取り込みの使用 76-13
dot1x initialize interface コマンド 83-40
dot1x max-reauth-req コマンド 83-44
dot1x max-req コマンド 83-43
dot1x pae authenticator コマンド 83-34
dot1x re-authenticate interface コマンド 83-39
dot1x timeout quiet-period コマンド 83-41
DSCP ベースのキューのマッピング 65-14
duplex コマンド 10-5, 10-6

E

EAC 70-2
EAPOL。「ポートベースの認証」も参照 83-7
eFSU、「Enhanced Fast Software Upgrade（eFSU）」を参照
EnergyWise 12-1
Enhanced Fast Software Upgrade（eFSU）
モジュール上のメモリ予約 5-5
モジュール上のメモリ予約、禁止 5-5
モジュールの最大停止時間の表示 5-10
enhanced Fast Software Upgrade（eFSU）
issu loadversion コマンド 5-9
新しいソフトウェア バージョンの許可 5-12
エラー処理 5-5
サポートされてない OIR 5-3
実行 5-5
使用上の注意事項および制限事項 5-2
冗長モードの確認 5-7
スイッチオーバーの強制実行（issu runversion コマンド） 5-11
スタンバイ RP に対する新しいソフトウェアの認定（issu commitversion コマンド） 5-13
スタンバイ RP への新しいソフトウェアのロード 5-9
中断（issu abortversion コマンド） 5-14
停止時間 5-4
手順 5-6
動作 5-3
EOBC
MAC アドレス テーブルの同期化 20-3
EoMPLS

VLAN モード 38-3
VLAN モードの設定 38-3
設定 38-4
注意事項および制約事項 38-1
ポート モード 38-3
ERSPAN 56-1
EtherChannel
channel-group グループ
コマンド 22-9, 22-14, 22-15, 22-16, 22-17
コマンド例 22-10, 22-15
interface port-channel
コマンド例 22-9
interface port-channel（コマンド） 22-8
lacp システム プライオリティ
コマンド例 22-11
「MEC」を参照 4-16
Min-Links 22-14, 22-15
PAgP
概要 22-5
port-channel load-balance
コマンド 22-11, 22-12
コマンド例 22-12
STP 22-7
概要 4-4, 22-3
設定
レイヤ 2 22-9
設定（作業） 4-29, 22-8
設定時の注意事項 4-29, 22-2
ポートチャネル インターフェイス 22-7
モード 22-4
レイヤ 2
設定 22-9, 22-16
ロード バランシング
概要 22-7
設定 22-12
EtherChannel ガード
「STP EtherChannel ガード」を参照
Ethernet over MPLS（EoMPLS） 38-3
Ethernet over MPLS（EoMPLS）設定
EoMPLS VLAN モード 38-4
EoMPLS ポート モード 38-7
EVC
サポート機能 41-2
設定時の注意事項 41-2
デフォルト設定 41-10
ブロードキャスト ドメイン 41-4
EXP 変換 67-4
Extensible Authentication Protocol over LAN。「EAPOL」を参照

F

FIB TCAM 36-3
Flex Link 21-1
インターフェイスのプリエンプション 21-3
設定 21-4
設定時の注意事項 21-2
説明 21-2
デフォルト設定 21-4
モニタリング 21-6

G

get 要求 86-7, 86-8, 86-11

H

hello タイム
MSTP 30-46
hello タイム、STP 30-36
http://www-tac.cisco.com/Teams/ks/c3/xmlkwery.php?srId=612293409 22-3

I

IAP
コンテンツ IAP 86-7
タイプ 86-6

定義 86-6
ID IAP 86-6
コンテンツ IAP 86-6
ICMP 到達不能メッセージ 69-2
ID
シリアル ID 53-16
ID IAP 86-6
IEEE 802.1Q Ethertype
カスタム設定 20-16
IEEE 802.1w
「RSTP」を参照
IEEE 802.1x
DHCP スヌーピング 83-16
MAC 認証バイパス 83-26
Network Admission Control レイヤ 2 検証 83-27
RADIUS 供給セッション タイムアウト 83-38
WoL サポート 83-28
アカウンティング 83-16, 83-44
音声 VLAN 83-22
クリティカル ポート 83-21
ゲスト VLAN 83-19
認証失敗 VLAN 83-20
ポート セキュリティ相互運用性 83-23
IEEE 802.3ad
「LACP」を参照
IEEE 802.3af 19-3
IEEE 802.3at 19-2
IEEE 802.3x フロー制御 10-9
IEEE ブリッジング プロトコル 34-2
IGMP 44-1
join メッセージ 44-4
イネーブル化 44-10
クエリー 44-4
クエリー時間
設定 44-12
スヌーピング
概要 44-3, 47-3
高速脱退 44-6
マルチキャスト グループからの脱退 44-6, 47-4
マルチキャスト グループへの加入 44-4, 47-4
スヌーピング クエリア
イネーブル化 44-9
概要 44-3, 47-3
設定時の注意事項 51-9
脱退処理
イネーブル化 44-13
IGMPv3 43-27
IGMPv3、IGMP v3lite、および URD を使用した送信元固有マルチキャスト 43-27
IGMP v3lite 43-27
ignore port trust 63-11
interface port-channel
コマンド例 22-9
interface port-channel（コマンド） 22-8
interfaces range macro コマンド 10-2
interfaces range コマンド 55-3
interfaces コマンド 10-2
Internet Group Management Protocol（インターネット グループ管理プロトコル） 44-1, 47-1
IP CEF
トポロジ（図） 32-4
ip flow-export source コマンド 58-3, 58-4, 58-5
ip http server 1-7
ip local policy route-map コマンド 33-5
IP MMLS
debug コマンド 43-32
イネーブル化
ルータ インターフェイス上 43-18
概要 43-2
キャッシュ、概要 43-4
設定時の注意事項 43-1
デフォルト設定 43-15
パケットの書き換え 43-5
ルータ
PIM、イネーブル化 43-17
インターフェイス上でのイネーブル化 43-18
グローバルなイネーブル化 43-17

レイヤ 3 の MLS キャッシュ 43-4
ip multicast-routing コマンド
IP マルチキャストのイネーブル化 43-17
IP Phone
設定 18-5
ip pim コマンド
IP PIM のイネーブル化 43-17
ip policy route-map コマンド 33-5
IPv4 マルチキャスト VPN 49-1
IPv6 QoS 62-4
IPv6 マルチキャスト レイヤ 3 スイッチング 50-1
IP アカウンティング、IP MMLS 43-2
IP ソース ガード 79-1
概要 79-2
設定 79-3
表示 79-5, 79-6
プライベート VLAN 上での設定 79-5
IP の番号付けなし 34-1
IP マルチキャスト
IGMP スヌーピング 44-9
MLDv2 スヌーピング 51-9
概要 44-3, 47-2, 48-2
IP マルチキャスト MLS
「IP MMLS」を参照
ISL トランク 20-4

J

join メッセージ、IGMP 44-4

L

LACP
システム ID 22-6
LER 67-2, 67-6, 67-7
LLDP-MED
設定する
TLV 19-8
Logical Operator Unit
「LOU」を参照
LOU
最大数の決定 69-3
説明 69-3
LSR 67-2, 67-7

M

mab コマンド 83-46, 83-51
MACSec 70-2
MAC アドレス テーブル通知 20-7
MAC アドレスベースのブロッキング 72-1
MAC アドレス リダクション 30-3
MAC 移動（ポート セキュリティ） 85-3
MAC 認証バイパス。「ポートベースの認証」も参照 83-26
main-cpu コマンド 9-4
match ip address コマンド 33-4
match length コマンド 33-4
MEC
概要 4-16
コンフィギュレーション 4-47
障害 4-17
ポートのロード シェアリング延期 4-18
MIB
CISCO-IP-TAP-MIB 86-2, 86-9, 86-11
CISCO-TAP2-MIB 86-8, 86-10, 86-11
SNMP-COMMUNITY-MIB 86-10
SNMP-USM-MIB 86-5, 86-10
SNMP-VACM-MIB 86-5, 86-10
min-links 22-14
MLD
レポート 51-5
MLDv1 51-2
MLDv2 51-1
イネーブル化 51-11
クエリー 51-6
スヌーピング
概要 51-3

高速脱退 51-8
マルチキャスト グループからの脱退 51-7
マルチキャスト グループへの加入 51-5
スヌーピング クエリア
イネーブル化 51-10
概要 51-3
脱退処理
イネーブル化 51-12
MLDv2 スヌーピング 51-1
MLD スヌーピング
クエリー時間
設定 51-10
MPLS 36-1, 36-2
any transport over MPLS 38-3
IP から MPLS へのパス 36-4
MPLS から IP へのパス 36-4
MPLS から MPLS へのパス 36-4
QoS のデフォルト設定 67-14
VPN 67-11
VPN に関する注意事項および制約事項 37-2
基本的な設定 36-9
コア 36-4
実験フィールド 67-3
集約ラベル 36-3
出力 36-4
制約事項 36-2
入力 36-4
ハードウェア機能 36-5
非集約ラベル 36-3
ラベル 36-2
MPLS DiffServ トンネリング モード 67-27
MPLS QoS
Diffserv コード ポイント 67-2
E-LSP 67-2
EXP 値マッピングの設定 67-26
EXP ビット 67-2
IP Precedence 67-2
QoS タグ 67-2
queueing-only モード 67-17
機能 67-3
クラス マップの設定 67-18
コマンド 67-15
サービス クラス 67-2
出力 EXP 変換の設定 67-25
分類 67-2
ポリシー マップの設定 67-20
ポリシー マップの表示 67-24
MPLS QoS の設定
MPLS パケットを分類するためのクラス マップ 67-18
MPLS VPN
制限事項および制約事項 37-2
MPLS サポート コマンド 36-2
MQC 61-1
MST
Rapid PVST+ との相互運用 31-21
ルート ブリッジ 31-21
MSTP
CIST、説明 30-20
CIST リージョナル ルート 30-21, 30-23
CIST ルート 30-22
CST
定義 30-21
リージョン間の動作 30-21
IEEE 802.1D との相互運用性
移行プロセスの再起動 30-49
説明 30-25
IEEE 802.1s
実装 30-24
ポートの役割名の変更 30-24
用語 30-22
IST
定義 30-20
マスター 30-21
リージョン内の動作 30-21
MST リージョン
CIST 30-20
IST 30-20

サポートされるスパニングツリー インスタンス 30-20
設定 30-39
説明 30-20
ホップ カウント メカニズム 30-23
VLAN と MST インスタンスのマッピング 30-40
概要 30-19
拡張システム ID
異常動作 30-41
セカンダリ ルート スイッチへの影響 30-42
ルート スイッチへの影響 30-41
境界ポート
設定時の注意事項 30-2
説明 30-23
ステータスの表示 30-49
ステータス、表示 30-49
設定
MST リージョン 30-39
高速コンバージェンス用リンク タイプ 30-48
最大エージング タイム 30-47
最大ホップ カウント 30-48
スイッチ プライオリティ 30-45
セカンダリ ルート スイッチ 30-42
転送遅延時間 30-47
ネイバー タイプ 30-48
パス コスト 30-44
ポート プライオリティ 30-43
ルート スイッチ 30-41
設定時の注意事項 30-2
設定する
hello タイム 30-46
デフォルト設定 30-27
モードのイネーブル化 30-39
ルート スイッチ
異常動作 30-41
拡張システム ID の影響 30-41
設定 30-41
MTU サイズ（デフォルト） 25-4
Multidomain Authentication（MDA）。「ポートベースの認証」も参照 83-14
MUX-UNI サポート 36-7
MVAP（Mul-VLAN Access Port）。「ポートベースの認証」も参照 83-22
MVR
IGMPv3 と 46-2
アプリケーション例 46-3
インターフェイスの設定 46-6
グローバル パラメータを設定する 46-6
スイッチ スタックでの 46-5
制約事項 46-2
デフォルト設定 46-5
マルチキャスト TV アプリケーション 46-3
モニタリング 46-8

N

NAC
RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 83-51
RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 83-51
アクセス不能認証バイパス 83-48
エージェントレス監査サポート 83-27
クリティカル認証 83-21, 83-48
レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 83-51
レイヤ 2 IEEE802.1x 検証 83-27
NDAC 70-2
NEAT
概要 83-30
設定する 83-55
NetFlow
テーブル、エントリの表示 32-5
NSF with SSO では、IPv6 マルチキャスト トラフィックがサポートされません。 7-1, 8-1

O

OIR 10-11

P

PAgP
　概要　22-5
PBACL　69-6
PBF　74-4
PBR　1-8
PBR（ポリシーベース ルーティング）
　イネーブル化　33-4
　設定（例）　33-7
PFC
　再循環　36-5
PIM、IP MMLS　43-17
PIM スヌーピング
　VLAN におけるイネーブル化　45-6
　概要　45-5
　グローバルなイネーブル化　45-5
　指定ルータのフラッディング　45-7
platform aging コマンド
　IP MLS の設定　52-3, 52-4
platform ip multicast コマンド
　IP MMLS のイネーブル化　43-18 ～ 43-28
PoE　19-2
　IEEE 802.3af　19-3
　IEEE 802.3at　19-2
　シスコ準規格　19-3
PoE 管理　19-3
　電力消費の測定　19-4
　電力ポリシング　19-4
police コマンド　63-13, 63-15
policy-based forwarding（PBF）　75-2
policy-map コマンド　63-10
port-channel load-balance
　コマンド　22-11, 22-12
　コマンド例　22-11, 22-12
port-channel load-defer コマンド　4-47
port-channel port load-defer コマンド　4-48
PortFast
　「STP PortFast」を参照
　エッジ ポート　31-2
　ネットワーク ポート　31-2
PortFast エッジ BPDU フィルタリング
　「STP PortFast エッジ BPDU フィルタリング」を参照
PortFast ポートのタイプ
　エッジ　31-2
　説明　31-2, 31-2 ～ ??
　ネットワーク　31-2
Power over Ethernet　19-2
Private Hosts 機能
　PACL がある場合のトラフィックの制限　27-5
　概要　27-4
　プロトコル独立型 MAC ACL　27-4
　ポート ACL（PACL）　27-7
　ポート タイプ　27-6
private hosts 機能
　スプーフィングからの保護　27-3
　設定（概要）　27-8
　設定時の注意事項　27-1
　設定（詳細手順）　27-9
　マルチキャストの動作　27-4
PVLAN ポートのポート セキュリティ　85-2
PVRST
　「Rapid-PVST」を参照　30-3
PVST
　説明　30-3
PVST シミュレーション
　PVST ピアの一貫性がないステート　31-21
　説明　31-21
　ルート ブリッジ　31-21
PVST ピアの一貫性がないステート
　PVST シミュレーション　31-21

Q

QoS
　IPv6　62-4
　自動 QoS
　　VoIP 用にイネーブル化　66-4

「自動 QoS」も参照 66-1
QoS CoS
ポートの値、設定 65-2
QoS DSCP
マップ、設定 65-7
QoS VLAN ベースまたはポート ベース 65-12
QoS アウト オブ プロファイル 63-4
QoS 受信キュー 65-18
QoS 送信キュー 64-6, 65-15, 65-16
QoS デフォルト設定 68-2
QoS 統計データ エクスポート 68-2
宛先ホストの設定 68-7
時間間隔の設定 68-6, 68-9
設定 68-2
QoS のマッピング
CoS 値から DSCP 値 65-4, 65-7
DSCP 値から CoS 値 65-9
DSCP 変換 65-3, 67-25
DSCP マークダウン値 65-8, 67-15
IP precedence 値から DSCP 値 65-7
QoS ポート
信頼状態 65-10
QoS ポート ベースまたは VLAN ベース 65-12
QoS ポリシング ルール
aggregate 63-4
マイクロフロー 63-4
QoS マークダウン 63-4

R

RADIUS 78-6
RADIUS。「ポートベースの認証」も参照 83-7
Rapid-PVST
イネーブル化 30-38
Rapid PVST+
MST との相互運用 31-21
概要 30-3
Remote Authentication Dial-In User Service。「RADIUS」を参照
RHI 4-54
RIF キャッシュのモニタリング 10-12
ROM モニタ
CLI 2-7
route health injection
「RHI」を参照
route-map (IP) コマンド 33-4
RPF
エラー 43-8
非 RPF マルチキャスト 43-8
RPR および RPR+ による IPv6 マルチキャスト トラフィックのサポート 9-1
RSTP
BPDU
形式 30-17
処理 30-18
IEEE 802.1D との相互運用性
移行プロセスの再起動 30-49
説明 30-25
トポロジの変更 30-18
「MSTP」も参照
アクティブ トポロジ 30-14
概要 30-14
高速コンバージェンス
エッジ ポートおよび Port Fast 30-15
説明 30-15
ポイントツーポイント リンク 30-15, 30-48
ルート ポート 30-15
指定スイッチ、定義 30-14
指定ポート、定義 30-14
提案合意ハンドシェイク プロセス 30-15
ポートの役割
説明 30-14
同期 30-16
ルート ポート、定義 30-14

S

Security Exchange Protocol（SXP） 70-2

service-policy input コマンド 63-18, 64-18, 65-4, 65-6, 67-26, 76-7
set default interface コマンド 33-4
set interface コマンド 33-4
set ip default next-hop コマンド 33-4
set ip df コマンド
PBR 33-4
set ip next-hop コマンド 33-4
set ip precedence コマンド
PBR 33-4
set ip vrf コマンド
PBR 33-4
set 要求 86-7, 86-8, 86-11
SGACL 70-2
SGT 70-2
Short Pipe モード
設定 67-31
show authentication コマンド 83-59
show catalyst6000 chassis-mac-address コマンド 30-4
show dot1x interface コマンド 83-39
show eobc コマンド 10-12
show history コマンド 2-4
show ibc コマンド 10-12
show interfaces コマンド 10-8, 10-9, 10-12, 20-6, 20-13
インターフェイス カウンタのクリア 10-13
表示、速度およびデュプレックス モード 10-6
show ip local policy コマンド 33-5
show mab コマンド 83-62
show module コマンド 9-5
show platform aging コマンド 52-4
show platform entry コマンド 32-5
show platform ip multicast group コマンド
IP MMLS グループの表示 43-29
show platform ip multicast interface コマンド
IP MMLS インターフェイスの表示 43-29
show platform ip multicast source コマンド
IP MMLS の送信元の表示 43-29
show platform ip multicast statistics コマンド
IP MMLS 統計情報の表示 43-29
show platform ip multicast summary
IP MMLS 設定の表示 43-29
show protocols コマンド 10-12
show rif コマンド 10-12
show running-config コマンド 10-12
ACL を表示する 73-8
show svclc rhi-routes コマンド 4-54
show version コマンド 10-12
shutdown コマンド 10-14
smart call home 53-1
Transport Gateway（TG）集約ポイント 53-4
宛先プロファイル（説明） 53-25
サービス契約の要件 53-2
説明 53-5
登録要件 53-5
SMARTnet
smart call home の登録 53-5
SmartPort マクロ 3-1
グローバル パラメータ値の適用 3-14
作成 3-13
設定時の注意事項 3-2
定義 3-4
デフォルト設定 3-4
トレース 3-2
表示 3-15
マクロの適用 3-14
SNMP
get および set 要求 86-7, 86-8, 86-11
サポートおよびマニュアル 1-7
設定 86-10
通知 86-9, 86-12
デフォルト ビュー 86-10
SNMP-COMMUNITY-MIB 86-10
SNMP-USM-MIB 86-5, 86-10
SNMP-VACM-MIB 86-5, 86-10
SNMP 通知の UDP ポート 86-12
SPAN
don’t learn オプションの付いた入力パケット
ERSPAN 56-29, 56-30

RSPAN 56-23, 56-26

概要 56-12

ローカル SPAN 56-17, 56-18, 56-19, 56-20

EtherChannel での宛先ポート サポート 56-12, 56-19, 56-23, 56-25, 56-26, 56-30

概要 56-7

設定 56-13

VLAN フィルタリング 56-31

ソース 56-17, 56-19, 56-21, 56-23, 56-24, 56-26, 56-27, 56-29

設定時の注意事項 56-1

分散型出力 56-11, 56-16

ERSPAN に対してディセーブルになっているモジュール 56-7

ローカル SPAN 出力セッションの増加 56-3, 56-17

spanning-tree backbonefast

コマンド 31-16, 31-17

コマンド例 31-16, 31-17

spanning-tree cost

コマンド 30-35

コマンド例 30-35

spanning-tree portfast

コマンド 31-2, 31-3, 31-4

コマンド例 31-3, 31-4

spanning-tree portfast bpdu-guard

コマンド 31-8

spanning-tree port-priority

コマンド 30-33

spanning-tree uplinkfast

コマンド 31-13

コマンド例 31-13

spanning-tree vlan

コマンド 30-29, 30-30, 30-32, 31-9, 31-18

コマンド例 30-29, 30-30, 30-32

spanning-tree vlan cost

コマンド 30-35

spanning-tree vlan forward-time

コマンド 30-37

コマンド例 30-37

spanning-tree vlan hello-time

コマンド 30-37

コマンド例 30-37

spanning-tree vlan max-age

コマンド 30-38

コマンド例 30-38

spanning-tree vlan port-priority

コマンド 30-33

コマンド例 30-34

spanning-tree vlan priority

コマンド 30-36

コマンド例 30-36

SPAN 宛先ポートの許可リスト 56-15

speed コマンド 10-4

sticky MAC アドレス 85-4

STP

EtherChannel 22-7

概要 30-2

802.1Q トランク 30-13

BPDU 30-4

概要 30-3

ディセーブル ステート 30-13

トポロジ 30-6

フォワーディング ステート 30-12

ブロッキング ステート 30-9

プロトコル タイマー 30-6

ポート ステート 30-6

ラーニング ステート 30-11

リスニング ステート 30-10

ルート ブリッジ選択 30-5

設定 30-28

hello タイム 30-36

イネーブル化 30-28, 30-30

最大エージング タイム 30-38

セカンダリ ルート スイッチ 30-32

転送遅延時間 30-37

ブリッジ プライオリティ 30-36

ポート コスト 30-34

ポート プライオリティ 30-33

ルート ブリッジ 30-31

デフォルト 30-26
標準ポート 31-3
STP BackboneFast
spanning-tree backbonefast
コマンド 31-16, 31-17
コマンド例 31-16, 31-17
概要 31-14
図
スイッチの追加 31-19
設定 31-16
STP BPDU ガード
spanning-tree portfast bpdu-guard
コマンド 31-8
概要 31-8
設定 31-8
STP EtherChannel ガード 31-17
STP PortFast
BPDU フィルタリング 31-9
設定 31-10
spanning-tree portfast
コマンド 31-2, 31-3, 31-4
コマンド例 31-3, 31-4
概要 31-2
設定 31-2
STP UplinkFast
spanning-tree uplinkfast
コマンド 31-13
コマンド例 31-13
概要 31-12
設定 31-13
STP の拡張機能
説明 ?? ～ 31-22
STP ブリッジ ID 30-3
STP ポートのタイプ
標準 31-3
STP ルート ガード 31-18
STP ループ ガード
概要 31-18
設定 31-20
svclc コマンド 4-54
switchport
設定 20-15
例 20-14
switchport access vlan 20-7, 20-8, 20-11, 20-15
例 20-15
switchport mode access 20-4, 20-7, 20-8, 20-15
例 20-15
switchport mode dynamic 20-10
switchport mode dynamic auto 20-4
switchport mode dynamic desirable 20-4
デフォルト 20-5
例 20-14
switchport mode trunk 20-4, 20-10
switchport nonegotiate 20-4
switchport trunk allowed vlan 20-12
switchport trunk encapsulation 20-8, 20-9
switchport trunk encapsulation dot1q
例 20-14
switchport trunk encapsulation negotiate
デフォルト 20-5
switchport trunk native vlan 20-11
switchport trunk pruning vlan 20-13
SXP 70-2

T

TDR
ケーブル接続の確認 10-14
注意事項 10-14
テストの開始および中止 10-14
Telnet
CLI へのアクセス 2-2
TLV
ホスト表示の検出 18-4, 83-14, 85-4
traceroute、レイヤ 2
1 ポートに複数のデバイス 59-2
ARP 59-2
CDP 59-1

IP アドレスおよびサブネット 59-2
MAC アドレスおよび VLAN 59-2
説明 59-2
マルチキャスト トラフィック 59-2
ユニキャスト トラフィック 59-2
tracerout、レイヤ 2
使用上の注意事項 59-1
Type-Length-Value
「TLV」を参照

U

UDE
概要 35-4
設定 35-5
UDE および UDLR 35-1
UDLD
イネーブル化
グローバル 11-5
ポート 11-5, 11-6
概要 11-2
デフォルト設定 11-4
UDLR 35-1
設定 35-6
トンネル
ARP および NHRP 35-4
（例） 35-7
バック チャネル 35-3
UDLR（単方向リンク ルーティング） 35-1
UMFB 82-2
Unknown Unicast Flood Rate-limiting
「UUFRL」を参照
UplinkFast
「STP UplinkFast」を参照
URD 43-27
UUFB 82-2
UUFRL 82-2

V

VACL 74-3
MAC アドレスベース 74-2
SVI 74-5
WAN インターフェイス 74-3
設定
例 74-6
マルチキャスト パケット 73-6
レイヤ 3 VLAN インターフェイス 74-5
レイヤ 4 ポート演算 69-2
ロギング
制約事項 74-8
設定 74-7
設定例 74-8
VLAN
4,096 個の VLAN サポート 25-3
VLAN 1 の最小化 20-12
VTP ドメイン 25-4
インターフェイスの割り当て 25-6
概要 25-2
拡張範囲 25-3
設定 25-1
設定（作業） 25-4
設定時の注意事項 25-2
デフォルト 25-3
トークン リング 25-3
トランク
概要 20-4
トランク上で許可される 20-12
名前（デフォルト） 25-3
標準範囲 25-3
マルチキャスト 46-2
予約範囲 25-3
vlan
コマンド 25-5, 25-7, 56-21
コマンド例 25-6
vlan group コマンド 83-45
vlan mapping dot1q

コマンド 25-9
VLAN アクセス コントロール リスト
「VACL」を参照
VLAN データベース
コマンド 25-5, 25-7, 56-21
VLAN ブリッジ スパニングツリー プロトコル 34-2
VLAN ベースの QoS フィルタリング 69-10
VLAN 変換
コマンド例 25-9, 25-10
VLAN ポート プロビジョニングの確認 25-5
VLAN マップ
適用 73-8
VLAN モード 38-3
VLAN ロック 25-5
VPN
設定例 37-4
注意事項および制約事項 37-2
VPN サポート コマンド 37-2
VPN スイッチング 37-1
VSS
デュアル アクティブ検出
fast-hello、説明 4-26
fast-hello、利点 4-25
VSLP fast-hello、設定 4-49
拡張 PAgP、説明 4-26, 4-48
拡張 PAgP、利点 4-25
VSS Quad-Sup SSO（V4SO） 4-9
VTP
アドバタイズメント 24-4, 24-5
概要 24-3
クライアント、設定 24-16
サーバ、設定 24-16
設定時の注意事項 24-1
ディセーブル化 24-16
デフォルト設定 24-10
統計情報 24-18
ドメイン 24-3
VLAN 25-4
トランスペアレント モード、設定 24-16
バージョン 2
イネーブル化 24-13
概要 24-5
バージョン 3
イネーブル化 24-14
概要 24-6
サーバ タイプ、設定 24-12
プルーニング
概要 24-7
設定 20-13, 24-13
ポート単位のイネーブル化とディセーブル化 24-17
モード
クライアント 24-4
サーバ 24-4
トランスペアレント 24-4
モニタリング 24-18

W

Web ブラウザ インターフェイス 1-7
Web ベース認証
AAA 失敗ポリシー 84-5
説明 84-2
WoL。「ポートベースの認証」も参照 83-28

あ

アウトオブバンド MAC アドレス テーブルの同期
VSS での 4-2
アウトオブバンド MAC アドレス テーブルの同期化
設定 20-7
アウト オブ プロファイル
「QoS アウト オブ プロファイル」を参照
アカウンティング
802.1x での 83-44
IEEE 802.1x での 83-16
アクセス、MIB の制限 86-10
アクセス権 86-9
アクセス コントロール エントリおよびリスト 69-1

アクセスの設定、例　86-11
アクセス不能認証バイパス　83-21
アクセスポート、設定　20-15
アクティブ化、合法的傍受の　86-9
アドバタイズメント、VTP　24-4
アラーム
　マイナー　14-4
　メジャー　14-4

い

イーサネット
　ポート デュプレックスの設定　10-10
イーサネット仮想接続
　「EVC」を参照
イーサネット フロー ポイント
　「EFP」を参照
イネーブル
　SNMP 通知　86-12
　合法的傍受　86-9
イネーブル化
　IP MMLS
　　ルータ インターフェイス上　43-18
イネーブル モード　2-5
インターフェイス
　カウンタ、クリアする　10-13
　コンフィギュレーション モード　2-5
　再起動　10-14
　シャットダウン
　　タスク　10-14
　情報を表示する　10-12
　設定、概要　10-2
　設定、速度　10-3
　設定、デュプレックス モード　10-3
　範囲　10-2
　番号　10-2
　メンテナンス　10-12
　モニタリング　10-12
　レイヤ 2 モード　20-4
インターフェイスのシャットダウン
　結果　10-14

え

エージング タイム
　アクセラレーション
　　MSTP の　30-47
　最大
　　MSTP　30-47, 30-48
エンドポイント アドミッション コントロール（EAC）　70-2

お

音声 VLAN
　Cisco 7960 Phone、ポート接続　18-2
　IP Phone への接続　18-5
　音声トラフィック用のポート設定
　　802.1Q フレーム　18-5
　概要　18-2
　設定時の注意事項　18-1
　データ トラフィック用の IP Phone の設定
　　着信フレームの CoS の上書き　18-6, 19-5
　デフォルト設定　18-4
音声 VLAN。「ポートベースの認証」も参照　83-22
オンライン診断
　エラー カウンタ テスト　A-4
　概要　15-2
　コンパクトフラッシュ ディスクの確認　A-46
　出力データ パス テスト　A-4
　診断の健全性チェック　15-25
　設定　15-2
　中断カウンタ テスト　A-4
　データ パスの確認　A-15
　テストの実行　15-6
　テストの説明　A-1
　メモリ テスト　15-24
オンライン診断テスト　A-1

か

カウンタ
　インターフェイスのクリア　10-13
書き換え、パケット
　CEF　32-3
　IP MMLS　43-5
拡張システム ID
　MSTP　30-41
拡張範囲 VLAN　25-3
　「VLAN」を参照
仮想プライベート LAN サービス（VPLS）　39-1
　CE への PE レイヤ 2 インターフェイスの設定　39-7
　PE での接続回線と VSI の関連付け　39-13
　PE における MPLS の設定　39-11
　PE における VFI の設定　39-12
　概要　39-3
　基本的な設定　39-2
　サービス　39-5
　サポートされる機能　39-4
　制約事項　39-2
　設定例　39-18
活性挿抜
　「OIR」を参照
環境モニタ機能
　スーパーバイザ エンジンおよびスイッチング モジュール　14-4
環境モニタリング
　CLI コマンドの使用　14-1
　LED 表示　14-4
　SNMP トラップ　14-4
　Syslog メッセージ　14-4
監視　86-7
管理機能（メディエーション デバイス）　86-7, 86-8
管理、定義　86-6

き

キーボード ショートカット　2-3
規格、合法的傍受　86-4

く

クエリー、IGMP　44-4
クエリー、MLDv2　51-6
クラス マップ コンフィギュレーション　63-8, 64-12
クリティカル認証　83-8
クリティカル認証、IEEE 802.1x　83-48
グローバル コンフィギュレーション モード　2-5

け

ゲスト VLAN と 802.1x　83-19

こ

高速コンバージェンス　30-15
高速スパニングツリー
　「RSTP」を参照
高速スパニングツリー プロトコル
　「RSTP」を参照
高速リンク通知
　VSL の障害　4-15
合法的傍受
　IRI　86-6
　SNMP 通知　86-12
　イネーブル　86-9
　概要　86-4, 86-5
　管理機能　86-7, 86-8
　収集機能　86-7
　処理　86-7, 86-8
　セキュリティ関する考慮事項　86-9
　設定　86-10, 86-11, 86-12
　前提条件　86-1
　メディエーション デバイス　86-6
合法的傍受処理　86-7
合法的傍受の前提条件　86-1

顧客連絡先情報
Call Home の入力 53-23
コマンドラインの処理 2-3
コマンド、リスト表示 2-6
コミュニティ VLAN 26-7
コミュニティ ポート 26-7
コンソール コンフィギュレーション モード 2-5
コンテンツ IAP 86-6

さ

サーバ ID
説明 53-16
サービス インスタンス
コンフィギュレーション モード 41-5
作成 41-4
定義済み 41-4
サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 30-19
再循環 36-5
最大エージング タイム
MSTP 30-47
最大エージング タイム、STP 30-38
最大ホップ カウント、MSTP 30-48
サブドメイン、プライベート VLAN 26-6
サプリカント 83-7

し

シスコ エクスプレス フォワーディング 36-3
システム イベント アーカイブ（SEA） 54-1
システムのハードウェア容量 1-3
指定ルータのフラッディングに対する PIM スヌーピングのディセーブル化 45-7
自動 QoS 66-1
概要 66-2
設定時の注意事項および制約事項 66-2
マクロ 66-4
自動イネーブル化 83-30
司法当局（LEA） 86-4
ジャンボ フレーム 10-6
収集機能 86-7
集約ポリシング 63-4
集約ラベル 36-3, 36-5
受信キュー
「QoS 受信キュー」を参照
出力 SPAN 56-11
冗長構成（RPR+） 9-1
redundancy コマンド 9-4
スーパーバイザ エンジンの設定 9-2
スーパーバイザ エンジンの設定の表示 9-5
設定 9-4
シリアル ID
説明 53-16
シリアル インターフェイス
同期
メンテナンス 10-13
リセット 10-13
信頼境界 18-6
信頼境界（CDP 装置の拡張された信頼状態） 18-4
信頼できないポートの DHCP Option 82 機能の許可 78-10
概要 78-5
設定 78-10

す

図
合法的傍受の概要 86-5, 86-6
スイッチ TopN レポート
実行 58-3
表示 58-3
フォアグラウンドの実行 58-2
スイッチド ポート アナライザ 56-1
スイッチ ファブリック機能 17-1
設定 17-3
モニタリング 17-4
スイッチ プライオリティ

MSTP 30-45

スイッチポート

show interfaces 10-8, 10-9, 20-6, 20-13

スーパーバイザ エンジン

環境モニタリング 14-1

冗長構成 9-1

冗長設定の表示 9-5

設定の同期化 9-5

スーパーバイザ エンジンの冗長構成

設定 9-2

スタティックに共有

説明 83-25

スタンバイ リンク 21-2

スティッキ ARP 76-10

スティッキ セキュア MAC アドレス 85-8, 85-9

スティッキ セキュア MAC アドレスによるポート セキュリティ 85-4

スティッキ セキュア MAC アドレスのイネーブル化 85-8

ストーム制御

「トラフィック ストーム制御」を参照

スヌーピング

「IGMP スヌーピング」を参照

スロット番号、説明 10-2

せ

制御プレーン ポリシング

「CoPP」を参照

制限、MIB アクセスの 86-10, 86-11

制限付き VLAN

IEEE 802.1x で使用する 83-20

設定する 83-46

説明 83-20

セカンダリ VLAN 26-7

セキュア MAC アドレスのエージング タイプ 85-10

セキュリティ

設定 71-1

セキュリティ関する考慮事項 86-9

セキュリティ グループ アクセス コントロール リスト（SGACL） 70-2

セキュリティ グループ タグ（SGT） 70-2

セキュリティ、ポート 85-3

設定 63-9, 64-12

SNMP 86-10

合法的傍受 86-10, 86-11, 86-12

設定、合法的傍受の 86-7

設定時の注意事項

EVC 41-2

設定例

EoMPLS VLAN モード 38-4

EoMPLS ポート モード 38-4, 38-7

VPLS、CE からタグなしトラフィックを受け取る 802.1Q アクセス ポート 39-8

VPLS、CE デバイスからタグ付きトラフィックを受け取る 802.1Q トランク 39-7

VPLS、PE 上の L2 VLAN インスタンス 39-10

VPLS、PE での接続回線と VSI の関連付け 39-13

VPLS、PE における MPLS 39-11

VPLS、PE における VFI 39-12

VPLS、QinQ を使用してすべての VLAN を単一の VPLS インスタンスに配置 39-9

そ

送信キュー

「QoS 送信キュー」を参照

送信元 ID

call home イベントの形式 53-15

速度

インターフェイスの設定 10-4

速度モード

自動ネゴシエーション ステータス 10-6

ソフトウェア

ルータのアップグレード 5-5

た

ダイナミック ARP インスペクション

ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライオリティ 80-6
ARP キャッシュ ポイズニング 80-3
ARP スプーフィング攻撃 80-3
ARP パケットのレート制限
errdisable ステート 80-6
設定 80-11
説明 80-6
ARP 要求、説明 80-3
DHCP スヌーピング バインディング データベース 80-4
DoS 攻撃、回避 80-11
man-in-the middle 攻撃、説明 80-4
インターフェイス信頼状態 80-5
機能 80-4
設定
着信 ARP パケットのレート制限 80-6, 80-11
ログ システム メッセージ 80-15
ログ バッファ 80-15, 80-16
設定時の注意事項 80-2
説明 80-3
妥当性チェック、実行 80-12
デフォルト設定 80-7
ドロップされたパケットのロギング、説明 80-6
ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス信頼状態 80-5
表示
ARP ACL 80-16
信頼状態およびレート制限 80-16
設定および動作状態 80-17
レート制限を超過した場合の errdisable ステート 80-6
ログ システム メッセージ
設定 80-15
ログ バッファ
設定 80-15, 80-16
ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル スヌーピング 78-1
タイム ドメイン リフレクトメータ 10-14
高容量電源のサポート 13-4
脱退処理、IGMP
イネーブル化 44-13
脱退処理、MLDv2
イネーブル化 51-12
単一方向イーサネット 35-1
設定例 35-5
単一方向リンク検出プロトコル
「UDLD」を参照
短縮形、コマンドの 2-5

つ

通知、「SNMP 通知」を参照

て

デバイス ID
call home の形式 53-15, 53-16
デフォルト設定
802.1X 83-31, 84-7
EVC 41-10
Flex Link 21-4
IP MMLS 43-15
MSTP 30-27
MVR 46-5
UDLD 11-4
VTP 24-10
音声 VLAN 18-4
ダイナミック ARP インスペクション 80-7
デフォルトの VLAN 20-11
デュプレックス モード
インターフェイスの設定 10-4
自動ネゴシエーションのステータス 10-6
電源管理
概要 13-1
冗長構成のイネーブル化またはディセーブル化 13-2
電力ポリシング 19-8
モジュールの電源投入または切断 13-3

電源の冗長性をイネーブルまたはディセーブルにするコマンド 13-2
電子トラフィック、モニタリング 86-7
電子メール アドレス
call home の割り当て 53-24
電子メール通知
Call Home 53-3
転送遅延時間
MSTP 30-47
転送遅延時間、STP 30-37
電力ネゴシエーション
LLDP 経由 19-8

と

統計情報
802.1X 83-58, 84-15
盗聴 86-4
独立 VLAN 26-7
独立ポート 26-7
特権 EXEC モード 2-5
ドメイン ネーム システム 86-2
トラストポイント 53-2
トラップ、「SNMP 通知」を参照
トラフィック ストーム制御
コマンド
ブロードキャスト 81-4
しきい値 81-2
説明 81-2
モニタリング 81-6
トラフィック抑制
「トラフィック ストーム制御」を参照
トランク 20-4
802.1Q の制約事項 20-2
DTP をサポートしないデバイス 20-5
VLAN 1 の最小化 20-12
インターフェイスのデフォルト設定 20-6
許可された VLAN 20-12
異なる VTP ドメイン 20-4
設定 20-9
デフォルトの VLAN 20-11
ネイティブ VLAN 20-11
トランクでサポートされるポート セキュリティ 85-2, 85-5, 85-8, 85-9
トンネリング 67-4, 67-27
トンネリング、802.1Q の
「802.1Q」を参照 28-4

な

内部 VLAN 25-3

に

入力 SPAN 56-11
認証失敗 VLAN
「制限付き VLAN」を参照
認証パスワード、VTP 24-5
認証前オープン アクセス。「ポートベースの認証」を参照

ね

ネイティブ VLAN 20-11
ネットワーク エッジ アクセス トポロジ
「NEAT」を参照
ネットワーク デバイス アドミッション コントロール（NDAC） 70-2
ネットワーク ポート
Bridge Assurance 31-5
説明 31-2

は

ハードウェア レイヤ 3 スイッチング
注意事項 32-2
バインディング データベース、DHCP スヌーピング
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照
パケット
マルチキャスト 73-6
パケット キャプチャ 60-2
パケットの書き換え
CEF 32-3
IP MMLS 43-5
パス コスト
MSTP 30-44
バックアップ インターフェイス
「Flex Link」を参照
範囲
コマンド 55-3
マクロ 10-2

ひ

非 RPF マルチキャスト 43-8
光ファイバ、単一方向リンクの検出 11-1
非集約ラベル 36-3, 36-5
ヒストリ
CLI 2-4
標準範囲 VLAN
「VLAN」を参照

ふ

フォールバック ブリッジング 34-1
複数パスの RPF チェック 76-8
不明なマルチキャスト フラッディングのブロック
「UMFB」を参照
不明なユニキャスト / マルチキャスト フラッディングのブロック 82-1
不明なユニキャスト フラッディングのブロック
「UUFB」を参照
プライオリティ
CoS の上書き 18-6, 19-5
プライベート VLAN 26-1
IP アドレス指定 26-8
SVI 26-10
エンド ステーション アクセス 26-8
コミュニティ VLAN 26-7
サブドメイン 26-6
セカンダリ VLAN 26-7
設定 26-10
セカンダリ VLAN とプライマリ VLAN 26-12
セカンダリ VLAN 入力トラフィックのルーティング 26-13
プライベートとしての VLAN 26-11
ホスト ポート 26-14
無差別ポート 26-15
設定時の注意事項 26-2, 26-4, 26-10
独立 VLAN 26-7
トラフィック 26-10
複数のスイッチ間 26-9
プライマリ VLAN 26-7
ポート
コミュニティ 26-7
設定時の注意事項 26-4
独立 26-7
無差別 26-7
モニタリング 26-16
利点 26-6
プライベート ホスト 27-1
プライマリ VLAN 26-7
プライマリ リンク 21-2
ブリッジ ID
「STP ブリッジ ID」を参照
ブリッジ グループ 34-1
ブリッジ ドメイン
設定 41-8
ブリッジ プライオリティ、STP 30-36
ブリッジ プロトコル データ ユニット
「BPDU」を参照
ブリッジング 34-1
ブリッジングのスパニングツリー プロトコル 34-2

ブルー ビーコン 1-6
フレーム配信
「EtherChannel ロード バランシング」を参照
フロー制御 10-9
ブロードキャスト ストーム
「トラフィック ストーム制御」を参照
ブロッキング ステート、STP 30-9
プロトコル トンネリング
「レイヤ 2 プロトコル トンネリング」を参照 29-2
分散型シスコ エクスプレス フォワーディング
「dCEF」を参照
分散型出力 SPAN 56-11, 56-16

ほ

ポイントツーポイント GRE トンネル上の IPv4 マルチキャスト 1-8
法執行のための通信援助法
音声用の CALEA 86-5
合法的傍受 86-4
傍受アクセス ポイント
「IAP」を参照
傍受関連情報（IRI） 86-6, 86-7
傍受、複数 86-6, 86-7
ポート
デバウンス タイマーの設定 10-10
ポート ACL
定義 73-2
ポート ACL（PACL） 73-1
ポート コスト、STP 30-34
ポート集約プロトコル
「PAgP」を参照
ポート セキュリティ
sticky MAC アドレス 85-4
違反 85-3, 85-4
エージング 85-10
スティッキ セキュア MAC アドレスのイネーブル化 85-8
設定 85-5
説明 85-3
表示 85-11
ポート セキュリティの MAC 移動 85-3
ポート単位の IEEE 802.1Q タギング 28-8
ポート単位の VTP イネーブル化とディセーブル化 24-17
ポートチャネル
「EtherChannel」を参照
ポート デバウンス タイマー
イネーブル化 10-10
ディセーブル化 10-10
表示 10-10
ポート ネゴシエーション 10-5
ポート プライオリティ
MSTP 30-43
ポート プライオリティ、STP 30-33
ポートベース認証
EAPOL-Start フレーム 83-10
EAP 応答 / アイデンティティ フレーム 83-10
EAP 要求 / アイデンティティ フレーム 83-10
MAC 認証バイパス 83-26
VLAN 割り当て
AAA 認証 83-33
設定タスク 83-18
説明 83-17
特性 83-18
Wake-on-LAN、説明 83-28
アカウンティング 83-16
設定 83-44
アクセス不能認証バイパス
設定する 83-48
説明 83-21
注意事項 83-4
イネーブル化
802.1x 認証 83-33, 83-35, 84-9
定期的な再認証 83-38
音声 VLAN
PVID 83-22
VVID 83-22

説明 83-22
開始およびメッセージ交換 83-10
カプセル化 83-8
クライアント、定義 83-7, 84-3
ゲスト VLAN
設定時の注意事項 83-20, 83-21
説明 83-19
スイッチ
RADIUS クライアント 83-8
プロキシとして 83-7, 84-3
スイッチ サプリカント
概要 83-30
設定する 83-55
設定
RADIUS サーバ 83-35, 84-10
クライアントの手動での再認証 83-39
クライアントの認証の初期化 83-40
スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 83-35
スイッチからクライアントへの再送信時間 83-42
スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 84-9
スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 83-43
設定時の注意事項 83-2, 84-1
設定する
アクセス不能認証バイパス 83-48
ゲスト VLAN 83-45
制限付き VLAN 83-46
説明 83-7
デバイスの役割 83-7, 84-3
デフォルト値へのリセット 83-58
デフォルト設定 83-31, 84-7
統計情報の表示 83-58, 84-15
認証サーバ
RADIUS サーバ 83-7
定義 83-7, 84-3
方式リスト 83-33
ポート
音声 VLAN 83-22
許可および無許可 83-12
許可ステートおよび dot1x port-control コマンド 83-12
ポート セキュリティ
音声 VLAN 83-23
説明 83-23
相互作用 83-23
マルチホスト モード 83-14
ホスト モード 83-13
マジック パケット 83-28
マルチ ホスト モード、説明 83-13
ポート ベースの QoS 機能
「QoS」を参照
ポートベースの認証
AAA 認証 83-33
DHCP スヌーピング 83-16
DHCP スヌーピングおよび挿入 78-6
multiauth モード、説明 83-15
VLAN グループ
注意事項 83-4
サプリカント、定義 83-7
設定
VLAN グループの割り当て 83-45
スイッチとクライアント間の EAP-Request フレーム再送信時間 83-42
スイッチと認証サーバ間の再送信時間 83-42
ユーザ分散 83-45
認証前オープン アクセス 83-15, 83-36
ポート
クリティカル 83-21
マルチドメイン認証モード、説明 83-14
モード 83-13
ユーザ分散
概要 83-19
設定 83-45
注意事項 83-4
ポート モード 38-3
ホストの存在についての TLV メッセージ 85-4
ホスト表示 CDP メッセージ 18-4, 83-14

ホスト ポート
　種類　26-7
ホスト モード
　「ポートベースの認証」を参照
ポリシーベース ACL（PBACL）　69-6
ポリシーベース ルーティング
　「PBR」を参照
ポリシー ベース ルーティング（PBR）
　設定　33-1
ポリシー マップ　63-9, 64-12
　インターフェイスへの対応付け　63-18, 64-18, 76-7

ま

マークダウン
　「QoS マークダウン」を参照
マイクロフロー ポリシング　63-4
マクロ　3-1
　「SmartPort マクロ」を参照
マジック パケット　83-28
マルチキャスト
　IGMP スヌーピング　44-9
　MLDv2 スヌーピング　51-9
　PIM スヌーピング　45-5
　概要　44-3, 47-2, 48-2
　非 RPF　43-8
マルチキャスト TV アプリケーション　46-3
マルチキャスト VLAN　46-2
マルチキャスト VLAN レジストレーション　46-1
マルチキャスト グループ
　加入　44-4, 47-4
　脱退　44-6, 51-7
マルチキャスト グループ、IPv6
　加入　51-5
マルチキャスト ストーム
　「トラフィック ストーム制御」を参照
マルチキャスト フラッディングのブロック　82-1
マルチキャスト リスナー検出バージョン 2　51-1
マルチキャスト レプリケーション モード検出の強化　43-19
マルチ スパニングツリー
　「MST」を参照
マルチ認証（multiauth）。「ポートベースの認証」も参照　83-15
マルチレイヤ MAC ACL QoS フィルタリング　69-9

み

ミニ プロトコル アナライザ　60-1

む

無差別ポート　26-7

め

メディエーション デバイス
　管理機能　86-7, 86-8
　説明　86-6
　定義　86-6

も

モニタリング
　Flex Link　21-6
　MVR　46-8
　プライベート VLAN　26-16
モニタリング、電子トラフィックの　86-7

ゆ

ユーザ EXEC モード　2-5
ユーザ ベースのレート制限　63-6, 63-15
優先遅延、デフォルト設定　21-4
優先、デフォルト設定　21-4
ユニキャスト ストーム
　「トラフィック ストーム制御」を参照

ユニフォーム モード
設定 67-35

よ

予約範囲 VLAN
「VLAN」を参照

ら

ラベル エッジ ルータ 36-3
ラベル スイッチド パス 38-1
ラベル スイッチング ルータ 36-3, 36-4

り

リダイレクト URL
概要 83-25
略語、リスト A-1
リンク冗長性
「Flex Link」を参照
リンク ネゴシエーション 10-5
リンクの失敗
単一方向の検出 30-26

る

ルータ ガード 48-1
ルート ガード
「STP ルート ガード」を参照
ルート スイッチ
MSTP 30-41
ルート ブリッジ
MST 31-21
PVST シミュレーション 31-21
ルート ブリッジ、STP 30-31
ルート マップ
定義 33-4
ループ ガード
「STP ループ ガード」を参照

れ

レイヤ 2
show interfaces 10-8, 10-9, 20-6, 20-13
VLAN
インターフェイスの割り当て 25-6
インターフェイスの設定 20-6
アクセス ポート 20-15
トランク 20-9
インターフェイス モード 20-4
スイッチング
概要 20-2
デフォルト 20-5
トランク
概要 20-4
レイヤ 2 Traceroute 59-1
レイヤ 2 traceroute
1 ポートに複数のデバイス 59-2
ARP 59-2
CDP 59-1
IP アドレスおよびサブネット 59-2
MAC アドレスおよび VLAN 59-2
使用上の注意事項 59-1
説明 59-2
マルチキャスト トラフィック 59-2
ユニキャスト トラフィック 59-2
レイヤ 2 インターフェイス
設定 20-1
レイヤ 2 プロトコル トンネリング
概要 29-2
レイヤ 2 トンネルの設定 29-3
レイヤ 3
IP MMLS および MLS キャッシュ 43-4
レイヤ 3 スイッチド パケットの書き換え
CEF 32-3
レイヤ 3 スイッチング

CEF 32-2
レイヤ 4 ポート演算（ACL） 69-2
レポート、MLD 51-5

ろ

ローカル出力レプリケーション 43-20
ロード シェアリング延期
MEC トラフィックのリカバリ 4-6